

鹿俣山・玉原高原 BC ツアー報告

【山城】群馬県：鹿俣山・玉原高原

【日程と天候】晴れ一時曇り

【メンバー】CL 菊池・坂倉

【行程】

千葉—玉原スキー場駐車場—リフトトップ 8:30—鹿俣山—北・北西斜面(夜後沢源頭まで標高差約 200m 滑走)—登り返し・リフトトップ—ゲレンデ—右ブナ林—ブナ平—道路—12:00 駐車場—ゲレンデ滑走—駐車場—帰葉



鹿俣山山頂から玉原湖

・玉原スキー場は沼田 IC を降り、ボトムが標高 1250 の高地に位置するため、残雪量が多い方である。3/28 は当初芝倉沢を狙っていたが、天気予想が芳しくないため中止し、ゲレンデスキーに変更も可能な玉原スキー場からのツアーに変更した。天気予報で晴れベースに好転、赤城高原 SA から望む武尊はこんな感じで夜明けを迎えた。谷川連峰の山々の稜線はこん



な芸術的な雲で覆われている。

- 1540m のリフトトップから鹿俣山山頂に向かう緩やかな稜線をシール登高します。



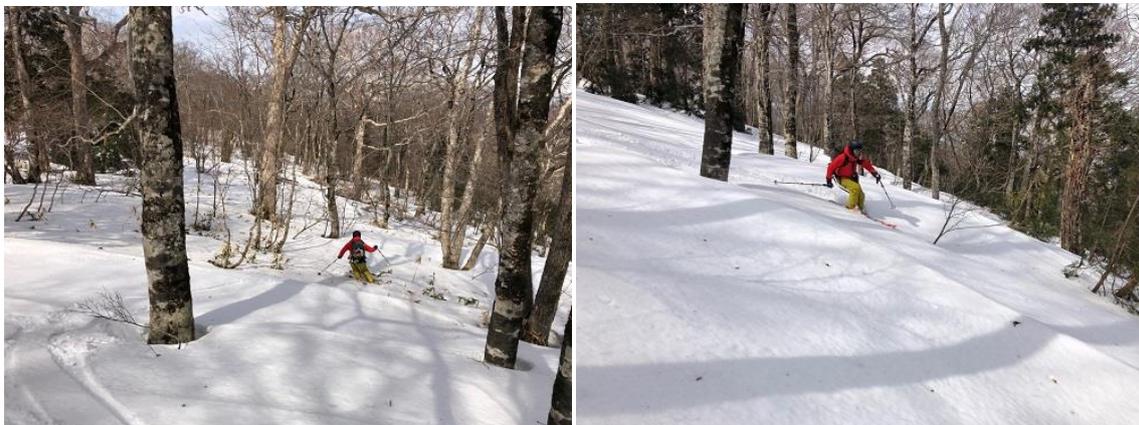
1636m の鹿俣山山頂の最後は少しツボ足で登ります。鹿俣山の山頂から獅子ヶ鼻山に向かう稜線に雪庇が張り出し、雲がかかった武尊山山頂が見えます。



谷川連峰も雲がなくなり、くっきりと全貌を現わしています。鹿俣山から北・北西斜面は、以前から山スキー仲間に厳冬期のパウダー滑走の魅力について聞いており、いつかは入ってみたいと考えていました。今回は来期のパウダー滑走の偵察を兼ねたツアーを目論見ました。上部は笹が出ている部分もありますが、概ね滑



走可能です。中間部は25日当たりが良くなってくると徐々に湿雪となりテクニカルになります。中間部は20度~30度の急斜面、数日前の降雪による重パウですが何とかターンが決められました。



日当たりが良くなってくると徐々に湿雪となりテクニカルになります。夜後沢の源頭部まで標高差約200m、まあまあの滑走感を味わえました。来期は是非厳冬期のドライパウダーツリーランを楽しみましょう。



満足の夜後沢源頭部までの偵察滑走を終え、余裕の登り返しゲレンデトップに戻り、これから玉原高原・ブナ平へのツアーです。

- 少しゲレンデを滑走し、右側に平行して広がるブナ林を滑走して行きます。です。樹間から谷川連峰が見え、次週の芝倉沢挑戦へのテンションがアップしました。ブナ林の雪面はザラメ化しており、素晴らしい滑走感でした。右方に進路をとり、ブナ平を進みます。平坦な緩



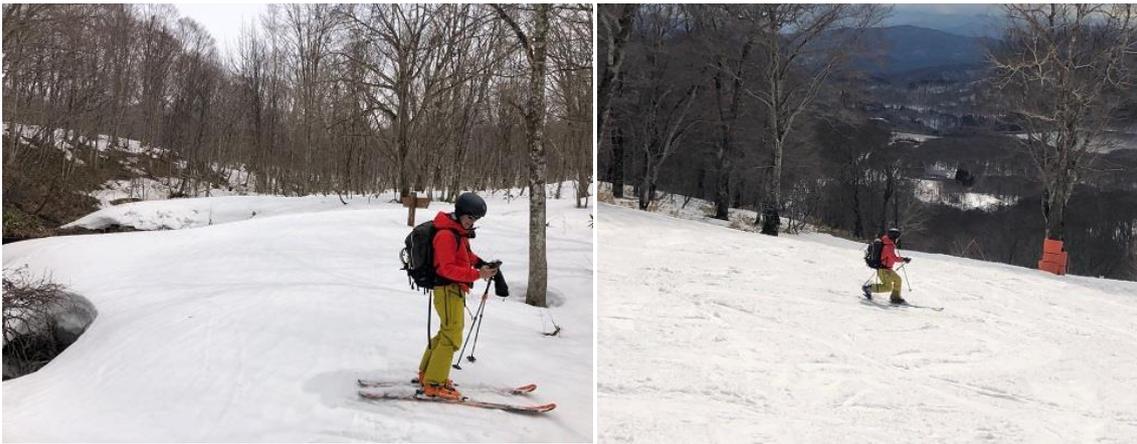


斜面の素晴らしいブナ林でスノーシューのトレースがわずかに残っています。この辺はスノーシューハイクやネイチャースキーにとっておきのエリアです。根開けしている気持ち良いブナ林の積雪は薄いところで30cmほどですが、滑走にはあまり問題ありません。休憩してコーヒーを頂きました。この玉原高原のブナ林は見事なことで有名です。次回は秋の紅葉の頃と厳冬期のフレッシュパウダーの時期に来てみたいと思います。

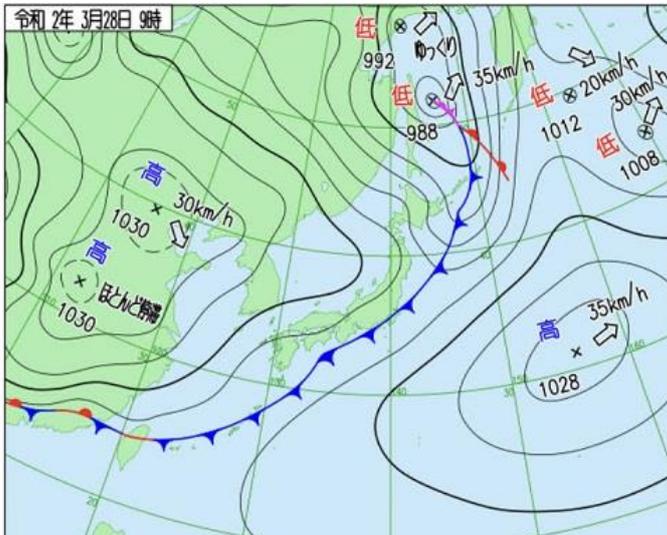


フィナーレ間近となってきました。小さな沢が入り組んでいます。道路の直前の道標の地点に到着しました。満足のネイチャースキーエリアでした。駐車場まで車道を25分前後歩きます。今回は2人で10回分の回数券を購入、レストハウスでビール休憩した後、相棒の希望でテレマーク初挑戦してみました。小生のブーツに足を押し込み、小生は彼のアルペン





を借用、アルペンセミブ技術を持ち合わせており、飲み込みが良かったため、コツをつかんだようで、華々しいテレデビューとなりました。



20200328 鹿俣山BCスキー

距離	14.2km
記録時間	06:24:29
最低高度	1,210m
最高高度	1,639m
累計高度(+)	792m
累計高度(-)	1,114m
平均速度	2.2km/h
最高速度	19km/h
消費カロリー	2074kcal
座標精度	★★★★★
接続率	92.4%

